


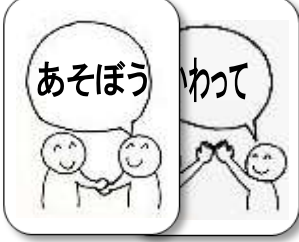

ステップ1

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【2】言葉で伝える
タイトル	絵カードの導入～カードに親しむ～
目的 身につけてほしい力	絵カードの活用で、言葉で伝える力を身につける。
教材の概要	<p>語彙が少なく、日常生活では場面と行動の結びつきで状況把握や指示理解をしていて、言葉のみでの指示理解に難しさがある児童生徒に、絵(写真)カードを活用することで、理解を補足する。また、言語での表出につなげる。</p> <p>ステップ1は絵カードに親しむ活動。</p>
使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード(写真カード)を1セット(5種×2枚) ・絵カードが入る大きさの箱 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ①指導者は絵カードを一枚ずつ提示する。 ★絵カードを提示する際に内容を発声して伝える。 ★可能であれば児童生徒に発声するように促す。 ②児童生徒は提示された絵カードに合わせて同じカードを出す。 ③正解なら指導者は「正解!」や「ピンポン!」などの言葉をかけ、用意した箱にカードを入れる。 ★不正解なら、もう一度選ぶように促したり、正解のカードを示したりする。 ④5枚全てマッチングできれば終わり。 ④慣れてきたらカードのセットを増やしていく。
その他	<p>絵カードの導入では、児童生徒のよく知っているものや興味のある物を題材にカードを作成する。</p> <p>言語化につなげていくため、児童生徒が発声できなくても指導者はカードの内容を言葉で伝えていく。</p>

ステップ2

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【2】言葉で伝える
タイトル	絵カードの活用～選択して要求を伝える～
目的 身につけてほしい力	絵カードの活用で、言葉で伝える力を身につける。
教材の概要	語彙が少なく、日常生活では場面と行動の結びつきで状況把握をしていて、言葉のみでの指示理解に難しさがある児童生徒に、絵（写真）カードを活用することで、理解を補足する。また、言語での表出につなげる。
使用するもの	<p>ステップ2は自分の希望を選択して相手に伝える内容。</p> <p>・児童生徒の好きな活動がわかる絵カード（写真カード）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>とらんぼりん</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おんがく</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ギター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おえかき</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>くまさん</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ぼーる</p> </div> </div>
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ①指導場面として、自由な活動ができる時間や、授業の中で活動を選択できるような場面で行う。 ②準備した絵カードを提示しながら、どの活動がしたいか問いかける。 ③児童生徒は絵カードを選択することで、活動を選ぶ。 ★指差しなどで選択したり、可能なら発声して伝えたりする。 ④選んだカードの活動を行う。
その他	児童生徒の興味・関心から好みの活動を把握しておくことが大切。

ステップ3

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【2】言葉で伝える
タイトル	絵カードの活用～様々な場面での活用～
目的 身につけてほしい力	絵カードの活用で、言葉で伝える力を身につける。
教材の概要 使用するもの	<p>語彙が少なく、日常生活では場面と行動の結びつきで状況把握をしていて、言葉のみでの指示理解に難しさがある児童生徒に、絵（写真）カードを活用することで、理解を補足する。また、言語での表出につなげる。</p> <p>ステップ3は、友だちに要求を伝える、良い行動を知ることを目的に取り組む。</p> <p>・絵カード（写真カード）</p> <p><対象の写真カード> <要求のカード> <ほめるカード></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ぶらんこ んがく</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あそぼう かわって</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まる まる</p> </div> </div>
教材の使用方法	<p><活動1>「友だちに要求を伝える」 休み時間など自由な活動ができる場面で、友だちを誘う、順番を代わってもらった時のやりとりを学ぶ。 例) 「一緒にぶらんこで遊ぼう」・・・ぶらんこの絵カードを友だちに見せて「ぶらんこ」「あそぼう」など可能な言葉での表出をする。</p> <p>「CDの順番を代わって」・・・「かわって」の絵カードを友だちに見せて「かわって」など可能な言葉での表出をする。 ★カードを見せられたらどうしたらよいかを指導者が伝えていく。</p> <p><活動2>「良い行動をほめる場面」 与えられた役割を頑張ったり、学習課題に取り組めたりして頑張りを認める場面で、言葉だけでなく絵カードと一緒に提示してほめる。認められる行動を視覚的に評価して好ましい行動を伸ばしていく。 例) 「友だちにやさしくタッチできたね。」「まる。」 「(5分間)お勉強に集中できたね。」「まる。」</p>
その他	カードを使うだけでなく、やり取りを丁寧に支援していく。カードの使用を通して自分から言葉が出てくるようにつなげていきたい。